

第 29 回第二言語習得研究会 (JASLA) 全国大会 プログラム (鹿児島大学)

■ 2018 年 12 月 8 日(土) (共通教育棟 3 号館 321 教室他) ■

12:30～ 受 付 (共通教育棟 3 号館 314 教室)

13:00～ 開会式 (共通教育棟 3 号館 321 教室)

開会宣言 坂本 正 (第二言語習得研究会 会長)

開催校挨拶 馬場 昌範 (副学長・グローバルセンター長)

13:15～16:45 《シンポジウム》 (共通教育棟 3 号館 321 教室)

学習科学：学びのデザイン

ことばを学ぶということ ―学習科学の立場から―

白水 始 (東京大学)

学びを引き出す仕掛けとしての「知識構成型ジグソー法」

―知識構成型ジグソー法の演習―

津奈木 考嗣 (宮崎県串間市教育委員会)

学びのデザインのための新たな研究法

益川 弘如 (聖心女子大学)

16:45～17:00 総会・事務局からの連絡

17:15～19:00 《懇親会》 (郡元南食堂エデュカ (教育学部))

■2017 年 12 月 9 日（日）（共通教育棟 3 号館 312 教室・322 教室他）■

9:10～ 受 付 （共通教育棟 3 号館 314 教室）

9:40～11:10 ≪口頭発表 1≫（共通教育棟 3 号館 322 教室）

9:40～10:10 学習者のピア・レスポンスの出す傾向とその適切性に関する調査
余 文龍（京都大学大学院生）
馬 云霏（京都大学大学院生）

10:10～10:40 第二言語作文の推敲における音読支援の有用性を探る
—JSL 中学生の作文の質の向上を目指して—
安藤良子（横浜国立大学大学院生）

10:40～11:10 台湾の大学生が日本語教師に期待すること —学年による相違—
山田美保（名古屋外国語大学研究生）

10:10～11:10 ≪口頭発表 2≫（共通教育棟 3 号館 324 教室）

10:10～10:40 文処理負担と使用する手がかり
—有生性手がかりによる処理負担—
藤田裕一郎（朝日大学）

10:40～11:10 文型積み上げ型テキストの文型提出順序についての再考
—処理可能性理論に基づいた日本語の発達段階との比較から—
下駄真奈美（Usec International School）

11:15～13:00 《ポスター発表》（共通教育棟3号館 312 教室・313 教室）

第1会場（312 教室）

- (1) 日中同形語における前・後漢字の音韻類似性が中国人日本語学習者の聴覚的認知に及ぼす影響

早川杏子（一橋大学）

- (2) L2 日本語学習者の推敲作文におけるペアワークの効果
—個別ワークとの比較から—

坪田めぐみ（淑徳日本語学校）

- (3) 音環境の違いが中国語北方方言話者の日本語長母音知覚に与える影響

栗原通世（国土舘大学）

- (4) アンモナイト形態素の再検証と実用化への試み

王 冠亮（南山大学研修生）

- (5) トルコ語を母語とする日本語学習者による日本語名詞修飾節の習得
—コーパスでの書き言葉のデータから—

岡山 涼（名古屋外国語大学大学院生）

- (6) ポートランド公立学校日本語イマージョン教育プログラムにおける学び
—現役教師とインターン経験者へのアンケート調査から—

勝 成仁（横浜国立大学大学院生）

- (7) 第二言語教育における教師不安 —主教材変更についての教師の語りの分析—

茅田美有紀（長崎大学）

近藤有美（名古屋外国語大学）

川崎加奈子（長崎外国語大学）

第2会場 (313 教室)

- (8) 中国語を母語とする日本語学習者の「因果関係を表す表現」の使用傾向について
—日本語母語話者の使用傾向との比較を通して—

美 玲 (福岡女子大学大学院生)

- (9) 中国語知識を利用した漢字読みスキュフオールディング
—北京在住日中バイリンガル児童の漢字読み調査より—

柳瀬千恵美 (九州大学)

- (10) 中国語を母語とする上級日本語学習者における中日2言語間の同形同義語と異形語の意味処理について

—単語—線画マッチング課題と視線追跡法を用いた実験的検討—

徐 婕 (広島大学大学院生)

柳本大地 (広島大学)

徐 暢 (広島大学大学院生)

- (11) 第二言語としての日本語動詞句の記憶における被験者実演課題の効果
—動詞の種類による検討—

中原郷子 (長崎外国語大学)

- (12) 中国人日本語学習者によるムードの「タ」の習得について
—事態把握の視点からの考察—

宋 欣ゲツ (横浜国立大学大学院生)

- (13) 日本語学習者のアクセント習得
—母語, 知覚, モニター, アクセント型の検討—

高橋恵利子 (目白大学)

畑佐由紀子 (広島大学大学院)

***** 12:30~13:30 昼 休 み *****

(昼休みの間も, ポスターは引き続き展示されます)

13:30～15:00 ≪基調講演≫（共通教育棟3号館 321 教室）

手話言語と音声言語の比較から言語の本質を再考する

市田泰弘 氏（国立障害者リハビリテーションセンター学院）

15:00～15:05 第30回全国大会のお知らせ

15:20～16:20 ≪口頭発表3≫（共通教育棟3号館 322 教室）

15:20～15:50 中級日本語学習者の名詞修飾節使用における母語の影響

大関浩美（麗澤大学）

15:50～16:20 決定木分析と共起ネットワークに基づく意見文へのコメント分析

李 在鎬（早稲田大学）

伊集院郁子（東京外国語大学）

小森和子（明治大学）

15:20～16:20 ≪口頭発表4≫（共通教育棟3号館 324 教室）

15:20～15:50 話し手の顔による調音情報が聴解の手掛かりとして習得されるのか
—目標言語圏での滞在期間の長さの比較を通して—

呉 佳穎（首都大学東京）

15:50～16:20 正しいキュー解釈に導く Focus on Form

—タイ人学習者を対象とした発達段階5「シカ」の指導での検証—

富田郁子（コンケン大学）

16:20～16:30 閉会式（共通教育棟3号館 322 教室）

●鹿児島大学案内・周辺地図

〒890-8580

鹿児島市郡元1丁目21番24号

市電2系統

「工学部前」電停より徒歩数分

他にも市営バス、鹿児島交通バス、南国交通バスなどがありますが、天文館からも鹿児島中央駅からも市電が一番便利です。

注. ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。構内には駐車できません。

【会場】

共通教育棟3号館：大会会場

郡元南食堂エデュカ（教育学部）：懇親会

■鹿児島市へのアクセス 鹿児島空港から鹿児島空港リムジンバスで鹿児島中央駅まで約40分



郡元キャンパス

法文学部 理工学研究科
教育学部 臨床心理学研究科
理学部 適合農学研究科
工学部
農学部
共同獣医学部

- 北谷通り（大正4年第7高等学校第14回記念樹（北谷斜に）に由来）
- 桜色並木通り
- 稲庭通り（稲庭和太やせうき農会長の南園の稲庭会館に由来）
- 田園通り（田園農産物に由来）
- みなの小径
- 本部前（城方通り（旧代学長 城方健三郎氏に由来）
- 植物園通り
- かねあいの通り
- 教育学部通り
- 玉科通り（鹿児島高等農林学校初代校長 玉利義通博士に由来）
- 工学部通り
- 理学部通り
- 法の小径
- 法文学部通り



詳細は、<https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/campusmap.html>

参加費：学生 3,000 円・一般 4,000 円

（予稿集・ジャーナル代を含む：事前申込不要）

共通教育棟3号館（1階・2階部分のみ）

